

DENON
PROFESSIONAL

DN-F350

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります（聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください）。
18. 水がかかるといった場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部
東京都港区南麻布3-19-23 オーク南麻布ビルディング6 階
[Web] inmusicbrands.jp
[サポート] www.inmusicbrands.jp/support

ユーザーガイド

はじめに

同梱品

- ・ DN-F350 本体
- ・ ラック耳 (ネジ付き)
- ・ RCA ケーブル
- ・ ユーザーガイド/保証書
- ・ 電源ケーブル
- ・ リモート・コントローラー

サポート

本製品の最新情報 (システム要件や互換性など) につきましては、製品ページ (denonpro.jp) をご覧ください。DENON Professional 製品のサポートにつきましては、サポートページ (denonpro.jp/support/) をご覧ください。

安全にご使用いただくために

電源を入れる前に： 全ての接続が確実に間違いがなく、接続ケーブルにも問題がないことを確認してください。機器がオフの状態でも、一部の回路には電源が供給され続けています。長期間にわたって機器を使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

正しい換気について： 機器が通気性の悪い部屋や、たばこの煙や埃などにさらされる状況に長期間置かれると、ピックアップの光学系の表面が汚れて、正しく動作しなくなる可能性があります。

結露について： 機器の内部と周囲の環境の温度に大きな差があると、機器内部に結露が起こり、正しく動作しなくなる可能性があります。このような場合は、機器の電源をオフにしたまま 1～2 時間置いて、機器内外の温度差がほとんど無くなるのを待ってください。

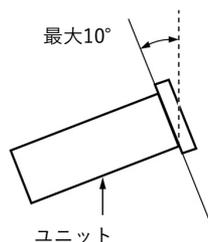
携帯電話の使用についての注意： 本体の近くで携帯電話を使用すると、ノイズが発生する可能性があります。このような場合は、本体から離れた所で携帯電話を使用してください。

機器の移動について： 機器を移動する際には、電源をオフにして、電源ケーブルもコンセントから抜き、他の機器に接続したケーブルを抜いてから移動するようにしてください。

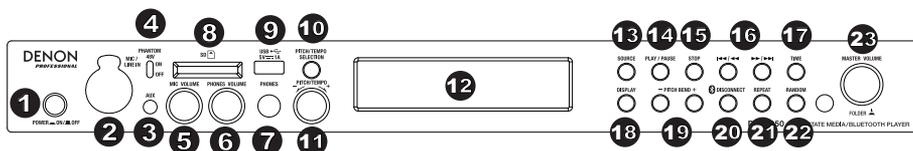
手入れについて： 筐体やコントロールパネルは、清潔で柔らかい布で拭いてください。化学性のクリーナーを使用する場合は、使用説明書の用法に従ってください。ベンジンや塗料用のシンナー、殺虫剤その他、有機溶剤を含む液体で機器を清掃しないでください。これらの物質は、素材の変質や色落ちの原因となる可能性があります。

ラックマウントの注意： EIA 標準 19 インチ (48.3cm) ラック、1U サイズ互換ラックおよび、本体を (機器を組み込むラックの規格) 支えることのできるレールや棚の付いたラックを使用してください。

ラック設置： 本製品は、フロントパネルが垂直から最大 10 度以内であれば、傾けて使用することができます。これ以上傾けると、ディスクの装填や排出が正しく行われなくなる恐れがあります (図参照)。



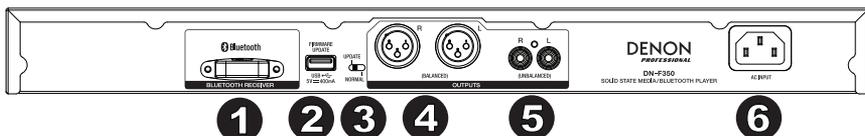
フロントパネル



- POWER ボタン**：このボタンを押して、機器の電源のオン/オフを切り替えます。メディアの再生中に電源をオフにしないでくださいメディアが損傷する恐れがあります。
- マイク/ライン入力端子**：マイクまたはラインレベルのデバイスをこの入力に接続します。マイクレベルまたはラインレベル信号の入力を設定するには、[操作>マイク/ライン入力を使用する](#)を参照してください。
注：マイク/ライン入力信号はヘッドフォン端子に送られません。
- AUX 入力端子**：1/8 インチ (3.5mm) TRS ケーブルを使用して別売りの機器をこの入力に接続します。[操作> 外部機器からのオーディオ・ファイルを再生する](#)を参照してください。
- 48V ファンタム電源切り替えスイッチ**：XLR + 1/4"入力端子で48Vのファンタム電源を使用するには、このスイッチを ON にします。ただし、ほとんどのダイナミックマイクやコンデンサーマイクのほとんどはファンタム電源が不要です。ファンタム電源が必要かどうかは、ご使用のマイクのマニュアルを参照してください。
- MIC VOLUME ノブ**：マイク/ライン入力信号の音量を調節します。
- HEADPHONE VOLUME ノブ**：ヘッドフォン出力の音量を調整します。
- ヘッドフォン端子**：ヘッドフォンをこの 1/4 インチ出力端子に接続します。
- SD カード・スロット**：ここに SD/SDHD カードを挿入して音楽ファイルを再生します。
- USB ポート**：マス・ストレージクラスの USB デバイスを接続します。
- PITCH/TEMPO SELECTION ボタン**：このボタンを押すと、ピッチまたはテンポのどちらかを調整するか選択することができます。
- PITCH/TEMPO調整ノブ**：テンポ・モードでは、ダイヤルを回して、オーディオ再生のテンポを-15~+15%の範囲で調整します。ピッチ・モードでは、このダイヤルを回して、オーディオ再生のピッチを-15~+15%の範囲で調整します。ピッチを最初に調整してからテンポを調整すると、ピッチは以前に設定した値のままになります。テンポを最初に調整してピッチを変更すると、テンポは以前に設定された値のままになります。
- ディスプレイ**：本体の現在の動作状況がこの画面に表示されます。詳細は、[ディスプレイ](#)の項を参照してください。
- SOURCE ボタン**：このボタンを押すと、デバイス選択画面になります。詳細については、[操作>メディア再生モードを選択する](#)を参照してください。
- PLAY/PAUSE ボタン**：このボタンを押して、再生の開始、一時停止から再生状態への復帰および一時停止の操作をします。
- STOP ボタン**：このボタンを押すと、再生が停止します
- トラック選択/移動ボタン**：SD、USB、または Bluetooth モードの場合、◀◀ボタンを押すと、前のトラックに移動します。▶▶ボタンを押すと、次のトラックに移動します。SD または USB デバイスを使用している場合、◀◀ボタンを長押しすると、通常の 5 倍の速度で巻き戻します。▶▶ボタンを長押ししてください。通常の 5 倍の速度で早送りします。
- TIME ボタン**：SD または USB デバイスの場合、このボタンを押してディスプレイのタイム・モードを切り替えます。
- DISPLAY ボタン**：SD または USB デバイスの場合、このボタンを押してトラック名またはアーティスト名の表示に切り替えます。
- ピッチベンド+/-ボタン**：マイク/ライン、SD、AUX、USB、またはBluetoothデバイスのオーディオのピッチまたはテンポを一時的に変化させます。(ピッチ/テンポ選択ボタンの設定に応じます)。ピッチベンド+ボタンを押している間は、ピッチまたはテンポが徐々に+15%まで上昇します。ピッチベンド-ボタンを押している間は、再生ピッチまたはテンポが徐々に-15%に下がります。ピッチベンド+/-ボタンを放すと、元の再生ピッチまたはテンポに戻ります。

20. **Bluetooth 解除ボタン**：ペアリングされた Bluetooth デバイスを解除するには、このボタンを 1.5 秒間押し続けます。
21. **リピート再生ボタン**：SD または USB デバイスの、リピート再生モードを切り替えます。ノーマルモード、1 回リピート 、フォルダごとのリピート、すべてリピート  があります。
22. **ランダム再生ボタン**：SD または USB デバイスの、再生モードを切り替えます。シングル再生 、ノーマル再生、フォルダ内でのランダム再生、すべてランダム再生  があります。
23. **マスターボリュームノブ**：マイク/ライン入力端子、AUX 入力端子、SD、USB、Bluetooth デバイスの XLR+1/4" および RCA 出力にかかる全体の音量を調整します。

リアパネル



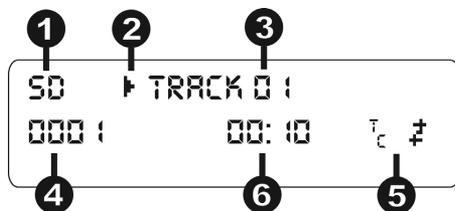
1. **Bluetooth レシーバー**：Bluetooth デバイスから信号を受信するための内蔵アンテナです。
2. **USB ポート**：この USB ポートは、ファームウェアを更新する時に使用します。最新のファームウェアを確認するには、denonpro.com を参照してください。詳細については、[その情報>ファームウェアの更新](#)を参照してください。
3. **切り替えスイッチ**：通常使用時はこのスイッチを「NORMAL」の位置にしておきます。ファームウェアの更新時はこのスイッチを「UPDATE」の位置に切り替えます。
4. **Outputs (バランス XLR)**：マイク/ライン入力、SD、Bluetooth、USB デバイス（マストレージクラス）、Aux In からのオーディオ信号を出力します。これらの出力を外部スピーカー、サウンドシステムなどに接続するには、XLR ケーブルを使用します。詳細については、[セットアップ](#)を参照してください。
5. **出力 (アンバランス RCA)**：これらの出力は、マイク/ライン入力、SD、Bluetooth、USB デバイス（マストレージクラス）、および Aux In からのオーディオ信号を送信します。これらの出力を外部スピーカー、サウンドシステムなどに接続するには、RCA ケーブルを使用します。詳細については、[セットアップ](#)を参照してください。
6. **ACIN**：電源ケーブルをここに接続します。

ディスプレイ

1. **メディア・タイプ**：USB、SD、AUX、Bluetooth、Line のうち、現在選択中のメディアが表示されます。詳細は、[操作>メディア再生モードを選択する](#)を参照してください。
2. **再生動作アイコン**：現在の再生モードを示す様々なアイコンが表示されます。

	再生		巻戻し
	一時停止		早送り
	停止		
3. **情報**：演奏中のメディアや現在の状態についての追加情報が表示されます。
4. **トラック/ファイル・ナンバー**：トラックまたはファイルのナンバーが表示されます
5. **機能アイコン**：これらの現在の機能を示すさまざまな記号が表示されます。

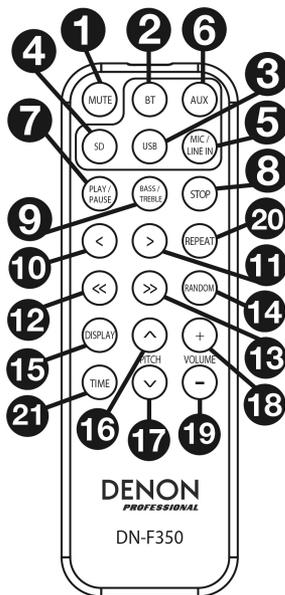
-  ランダム再生
-  シングル再生
-  リピート・ワン
-  リピート・オール
-  [機能>フロントパネル](#)を参照)



6. **演奏時間**：CD、USB または SD モードでは、演奏の経過時間または残り時間が hh (時間) : mm (分) : ss (秒) の形式で表示されます。

リモート・コントロール

1. **MUTE** : オーディオ出力からの音声を無効にします。
2. **BT** : Bluetoothモードに切り替えます。
3. **USB** : USBモードに切り替えます。
4. **SD** : SDモードに切り替えます。
5. **マイク/ライン入力** : マイク/ライン入力に切り替えます。
6. **AUX** : AUXモードに切り替えます。
7. **再生/一時停止** : SDカード、USBデバイス、またはBluetoothデバイスからのオーディオを再生または一時停止します。
8. **停止** : SDカードまたはUSBデバイスからオーディオを停止します。
9. **BASS/TREBLE** : 低音と高音のEQを調整します。
10. **スキップ・ボタン(前)** : SDまたはUSBの前のトラックに戻ります。
11. **スキップ・ボタン(後)** : SDまたはUSBの次のトラックに進みます。
12. **サーチ・ボタン(前)** : SDまたはUSBトラックを巻き戻す場合はホールドします。
13. **サーチ・ボタン(後)** : ホールドしてSDまたはUSBトラックを早送りします。
14. **ランダム** : SDまたはUSBモードで、ランダム、シングルプレイ、ノーマル、ランダム・フォルダーを順番に切り替えるときに押します。
15. **ディスプレイ** : ボタンを押すと、ディスプレイの明るさを調整することができます。
16. **Pitch Up** : テンポやピッチ上げることができます。
17. **Pitch Down** : テンポやピッチを下げるすることができます。
18. **Volume Up** : SD、USB、Bluetoothの音量を上げることができます。
19. **Volume Down** : SD、USB、Bluetoothの音量を下げるすることができます。
20. **リピート** : SDまたはUSBのリピート再生モードを切り替えます：ノーマル、リピート・ワン、リピート・フォルダ、リピート・オール
21. **Time** : SD または USB モード時、このボタンを押すと、経過時間、残り時間、合計経過時間、または残りの合計時間を切り替えることができます。

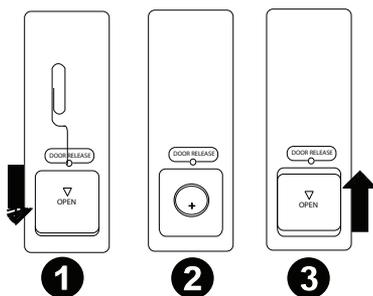


電池の使い方

重要：リモコンをはじめて使用するときは、絶縁シートを電池収納部から引き出してください。

電池を交換するには：

1. ペーパーリップをリモコンの背面にあるドアリリース穴に差し込み、開きます。
2. 古いリチウム電池を電池ケースから引き出し、新しい電池を挿入します。電池のプラス(+)側を上にして置きます。
3. 電池ケースを慎重にコンパートメントに入れ、端が溝に入るようにしてから、電池ケースを元の位置にスライドさせます。



重要：リチウム電池を誤って使用すると、発熱、発火、破裂の原因となります。電池を使用または交換するときは、以下の点に注意してください。

- 付属の電池は、リモコンの機能をテストするためのものです。
- 3V CR2032 リチウム電池を使用してください。
- 電池は絶対に充電しないでください。電池の取り扱いを雑に行ったり、バッテリーを分解したりしないでください。
- 電池を交換するときは、極性 (+ と -) を正しい方向に向けて置きます。
- 高温や直射日光の当たる場所に電池を放置しないでください。
- 幼児や子供の手の届かないところに電池を保管してください。万一、電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- 電解液が漏れた場合は、すぐに電池を廃棄してください。電解液が皮膚や衣服を燃やす可能性があるため、取り扱いには注意してください。電解液が皮膚や衣類に触れた場合は、直ちに水道水で洗い流し、医師に相談してください。
- 電池を廃棄する前に、地方自治体の廃棄処分場に記載されている指示に従って、テープなどで絶縁し、火器のない場所に廃棄してください。

動作範囲

リモコンを操作するときは、リモコンを IR センサーに向けます。

注：リモコン受光部が直射日光や強い人工光（インバータタイプの蛍光灯など）、赤外光などにさらされた場合、本機またはリモコンが正常に機能しないことがあります。

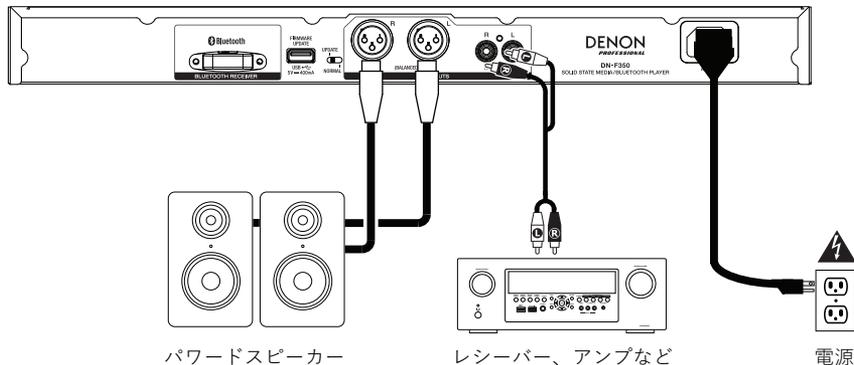


セットアップ

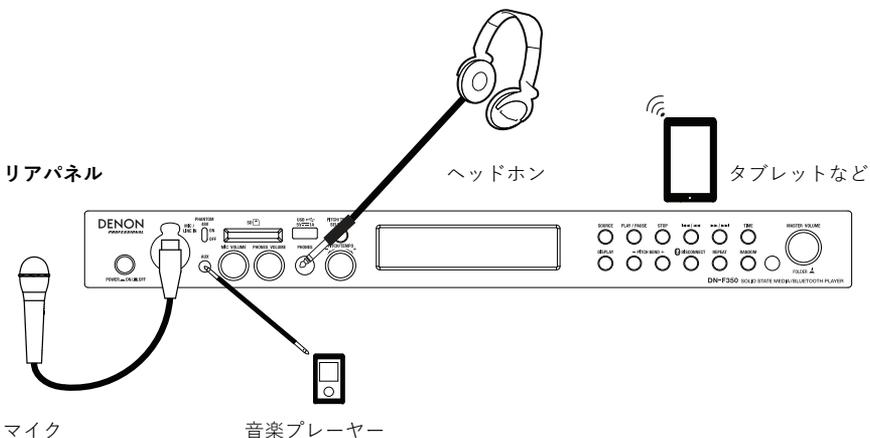
重要：すべてのケーブルをしっかりと正しく接続してください（ステレオケーブルの場合、左は左に、右は右に）。また、電源ケーブルには束ねないでください。

1. XLR ケーブルまたはステレオ RCA ケーブルを使用して、出力（バランスまたはアンバランス）を、外部 レシーバー、アンプ、パワードモニターなどのアナログ入力に接続します。
2. すべての接続が完了したら、付属の電源ケーブルを使用して AC インから電源コンセントに接続します。

リアパネル



リアパネル



※同梱物に記載されていない項目は別売です。

操作

メディア再生モードを選択する

再生するメディアの種類を選択するには：

SOURCE ボタンを押して、使用可能なオプションを切り替えます。

- **LINE**：マイク/ライン入力に接続されたデバイス（マイク/ライン入力の使用を参照）
- **SD**：SD カード（**SD カード経由でのオーディオ・ファイルを再生する**を参照）
- **AUX**：Aux In に接続されたデバイス（外部デバイスからのオーディオを再生するを参照）
- **USB**：USB デバイス（マストレージクラス）（**USB フラッシュドライブのオーディオ・ファイルを再生する**を参照）
- **Bluetooth(BT)**：Bluetooth デバイス（**Bluetooth デバイスからオーディオ・ファイルを再生する**を参照）

マイク/ライン入力を使用する

ラインレベルのデバイスまたはマイクをマイク/ライン入力に接続するには：

1. ユニットがオフの場合は、電源ボタンを押して電源をオンにします。
2. マイク/ライン入力にマイクまたはラインレベルのデバイスを接続します。マイクレベルまたはラインレベル信号の入力を設定するには、**操作>追加機能**を参照してください。
3. SOURCE ボタンを押し、[Line]を選択します（**メディア再生モードを選択する**を参照）。
4. DN-F350 の MIC VOLUME ノブで調整します。

SD カード経由でのオーディオ・ファイルを再生する

SD カードでオーディオファイルを再生するには：

1. 本体の電源がオフの場合は、POWER ボタンを押して電源をオンにします
2. SD カードを SD カードスロットに挿入します。
3. メディア・タイプを選択します（メディア再生モードの選択を参照）
4. オーディオ・ファイルを選択します：
 - SD カードが接続されると、ルート・ディレクトリ内のファイルが表示されます。マスターボリュームダイヤルを押し、最初のフォルダを開きます。そのフォルダ内の再生可能なすべてのファイルが表示されます。別のフォルダにアクセスするには、マスターボリュームダイヤルをもう一度押します。
 - オーディオ・ファイルを移動するには、<</|<< と >>/>>を押します。ボタンを押してください。SD ソースの場合は、次のいずれかの操作を実行できます。

SD ソースの場合は、次のいずれかの操作が可能です：

- PLAY/PAUSE ボタンで再生/一時停止、または一時停止から再生を再開する事が出来ます。
- 再生を停止するには、STOP ボタンを押します。
- 再生している曲の巻き戻しまたは早送りするには、TRACK SEARCH ボタンを押し続けると通常の再生速度の 5 倍で巻き戻し/早送りをすることが出来ます。
- DISPLAY ボタンを押す事で再生しているファイルの情報を切り替える事が出来ます。
- REPEAT ボタンを押す事でリピート機能を使用する事が出来ます。Normal モード（リピート再生しません）、RepeatOne（1 曲を繰り返し再生し続けます）、RepeatFolder（選択したフォルダ内の曲を繰り返し再生します）、Repeat All（全ての曲を再生し終わった後、1 曲目に戻りまた再生を開始します）
- RANDOM ボタンを押す事で PLAY モードを切り替える事が出来ます。Single Play（現在のトラックを再生し終わると停止します）、Normal モード（全てのトラックを順番に再生します）、Random Folder（フォルダ内の曲をランダムで再生します）、Random All（SD カード上のトラックをランダムな順序で再生します（最大 256 トラック））
- ディスプレイのタイム・モードを変更するには、TIME ボタンを押します。Elapsed（経過時間）と Remaining（残り時間）が切り替わります。

- SD カードを取り外すには、オーディオ・ファイルを再生していない時に、カードをゆっくりとスロットの中に押し取り出します（再生中に SD カードを取り外すと、故障する可能性があります）。

外部機器からオーディオ・ファイルを再生する

AUX IN 端子に接続された外部機器（スマートフォンやコンピュータ、携帯音楽プレーヤなど）からオーディオを再生するには：

1. 本体の電源がオフの場合は、POWER ボタンを押して電源をオンにします。
2. 外部機器のステレオ／ヘッドフォン出力と本体の AUX IN 端子を、1/8 インチ（3.5mm）ケーブルで接続します。
3. メディア・タイプは AUX を選択します（**メディア再生モードを選択する**を参照）。外部機器が接続されていれば AUX Connected、接続されていなければ AUX Disconnect とディスプレイに表示されます。
4. 外部機器の PLAY（再生）ボタンを押して、再生を開始します。

USB フラッシュドライブからオーディオ・ファイルを再生する

USB デバイスでオーディオファイルを再生するには：

1. 本体の電源がオフの場合は、POWER ボタンを押してオンにします。
2. USB デバイス（マストレージクラス）を USB ポートに接続します。
3. 使用するメディアタイプとして USB を選択します（**メディア再生モードを選択する**を参照）。
4. オーディオ・ファイルを選択します。
 - USB フラッシュドライブを最初に接続すると、ルートディレクトリのファイルが表示されます。マスターボリュームダイヤルを押すと、最初のフォルダが開きます。そのフォルダ内のすべてのファイルが最初に表示されます。フラッシュドライブの他の再生可能なコンテンツは、後に表示されます。別のフォルダにアクセスするには、もう一度マスターボリュームダイヤルを押します。
 - オーディオ・ファイルを移動するには、<</|<<と>>/>>を押します。

USB モードでは、次のいずれかの操作が可能です。

- PLAY/PAUSE ボタンで再生/一時停止、または一時停止から再生を再開する事が出来ます。
- 再生を停止するには、STOP ボタンを押します。
- 再生している曲の巻き戻しまたは早送りするには、TRACK SEARCH ボタンを押し続けると通常の再生速度の 5 倍で巻き戻し/早送りをする事が出来ます。
- DISPLAY ボタンを押す事で再生しているファイルの情報を切り替える事が出来ます。
- REPEAT ボタンを押す事でリピート機能を使用する事が出来ます。Normal モード（リピート再生しません）、Repeat One（1 曲を繰り返し再生し続けます）、Repeat Folder（選択したフォルダ内の曲を繰り返し再生します）、Repeat All（全ての曲を再生し終わった後、1 曲目に戻りまた再生を開始します）
- RANDOM ボタンを押す事で PLAY モードを切り替える事が出来ます。Single Play（現在のトラックを再生し終わると停止します）、Normal モード（全てのトラックを順番に再生します）、Random Folder（フォルダ内の曲をランダムで再生します）、Random All（USB デバイス上のトラックをランダムな順序で再生します（最大 256 トラック））
- ディスプレイのタイムモードを変更するには、TIME ボタンを押します。Elapsed（現在のトラックの経過時間）、Remaining（現在のトラックの残り時間）から選択することができます。
- USB デバイスを取り外すには、USB デバイスが再生されていないときに USB ポートから静かに取り外します（再生中に USB デバイスを取り外すと、USB デバイスが損傷する可能性があります）。

Bluetooth デバイスからオーディオ・ファイルを再生する

Bluetooth のトラックを再生するには：

1. 本体の電源がオフの場合は、Power ボタンを押してオンにします。
2. メディアタイプとして Bluetooth (BT) を選択します (メディア再生モードの選択を参照してください)。
3. Bluetooth デバイスの設定画面に移動し、「DN-F350」をみつめて検出し、接続します。

注：Bluetooth デバイスがペアリングコードを要求する場合は、**0000** を入力します。

Bluetooth モードでは、以下の操作を実行できます。

- 再生を開始、再開、または一時停止するには、PLAY/PAUSE ボタンを押します。
- 再生を一時停止するには、STOP ボタンを押します。
- Bluetooth デバイスのリストを表示するには、REPEAT ボタンを押し、マスターボリュームダイヤルを使用して Bluetooth デバイスのリストを探します。ペアリングしたいものが見つかったら、マスターボリュームダイヤルを押して選択します。
- ペアリングされた Bluetooth デバイスを切断するには、Bluetooth DISCONNECT (切断) ボタンを 1.5 秒間押し続けます。

追加機能

メニュー設定：

Menu 設定にアクセスするには、マスターボリュームダイヤルを長押しします (またはリモコンの DISPLAY ボタンを押したままにします)。マスターボリュームダイヤルを回すか、リモコンの < と > ボタンを使ってメニューをナビゲートします。マスターボリュームダイヤルを押してオプションを選択するか、リモコンの PLAY/PAUSE ボタンを押します。リモコンの STOP ボタンを押して前のメニューオプションに戻りメニューを終了するか、数秒待つと、本体は自動的にメニュー設定を終了します。

表示されるメニュー設定は次のとおりです。

- MIC/LINE IN (入力信号をラインまたはマイクに設定します)。
- PAGING (MIC/LINE IN の「PHANTOM48V」スイッチをオンまたはオフにします。マイクを使用している時にオンにすると、オーディオデバイスの音量が小さくなります。マイクを使用している時にオフにすると、設定された音量で鳴ります)。
- システムバージョンの確認 (現在のファームウェアバージョンを表示)。
- システムリセット (工場出荷時の状態にリセット)。

その他の情報

USB 機器/SD カード

USB 機器や SD カードのオーディオ・ファイルを再生する際の注意事項：

- DN-F350 は、接続した USB 機器の充電や USB ハブ、USB 延長ケーブル、SD カードリーダーをサポートしていません。
- DN-F350 がサポートするのは、マス・ストレージ・クラスまたは MTP 互換の USB 機器です。
- DN-F350 がサポートするファイル・システムは、FAT16 または 32 のみです。
- フォルダは 999 個まで、フォルダの階層はルート・ディレクトリを含めて最大 8 階層まで認識できます。
- オーディオ・ファイルは 999 個まで認識できます。USB 機器や SD カードに 1000 個以上のファイルが記録されている場合には、再生や表示が正しく行われないファイルが出て来るかもしれません。
- ファイル名やフォルダ名、テキストに使用可能な文字数は最大 255 字です。ディスプレイで表示できるのは、英語の大文字、小文字、数字およびアイコンだけで、日本語のファイル名は表示されません。
- 著作権保護のあるファイルは正しく再生されないか、あるいは Unknown File と表示される場合があります。

DN-F350 は、USB 機器や SD カードのオーディオ・ファイルを再生する際に以下のタグ・データをサポートします：

- **ID3 タグ：**バージョン 1.x および 2.x
- **MP3 ファイル：**
 - ◇ サンプルレート：44.1kHz
 - ◇ ビットレート：64kbps～320kbps
 - ◇ フォーマット：MPEG 1 Audio Layer 3
 - ◇ ファイル拡張子：.mp3
- **WAV ファイル：**
 - ◇ サンプルレート：44.1kHz
 - ◇ ビットレート：16bit
- **MP2**
- **M4A** (DRM 保護なし)
- **WMA** (DRM 保護なし)

オーディオ・ファイルの再生順序

複数のフォルダに保存されたオーディオ・ファイルを再生する場合、各フォルダの再生順序は、本体がメディアを読み取るときに自動的に設定されます。各フォルダ内のファイルは、メディアに追加された順序で再生されます（この順番は、お使いのコンピューターまたはソフトウェアと、本機では異なることがあります）。

ファームウェアの更新

1. denonpro.com の製品ページにアクセスして、DN-F350 のダウンロード可能なアップデートがあるかどうかを確認します。
2. USB 機器のルート・ディレクトリにファームウェア・ファイルを保存します。ドライブ上の最初のフォルダに表示されるようにファイルを解凍してください。
3. DN-F350 の電源を入れます。
4. SOURCE ボタンを押して "USB" を選択します。
5. リアパネルの操作スイッチを "Update" に設定します。
6. ファームウェアの入った USB ドライブを背面パネルの USB ポートに挿入します。
7. ファームウェアの更新を促すメッセージが表示されたら、フロントパネルの PLAY/PAUSE ボタンを押します。更新状況が画面に表示されます。
8. 更新が完了すると、DN-F350 がリセットされ、通常の操作が可能になります。

トラブルシューティング

問題が発生した場合は、以下の項目を確認してください。

- すべてのケーブル、デバイス、アンテナ、またはメディアが正しく確実に接続されていることを確認します。
- 本書ユーザーガイドに記載されている通りに本機を使用していること。
- その他のデバイスやメディアが正しく動作していること。
- 本体が正常に動作していないと思われる場合は、以下の表で解決方法を確認してください。

症状	対処法	参照
電源が入らない	装置がコンセントに正しく接続されていることを確認してください。	セットアップ
本体が音を出さない、または音が歪んでいる。	すべてのケーブル、デバイス、またはメディアの接続が確実で、正しいことを確認してください。ケーブルが損傷していないことを確認してください。アンプ、ミキサーなどの設定が正しいことを確認してください。	セットアップ
USB デバイスを挿入しても No Device と表示される。	一度 USB デバイスを取り外し、再度しっかりと差し込んでください。 USB デバイスがマスタストレージクラスであること、または MTP と互換性があることを確認してください。 USB デバイスが FAT16 または FAT32 ファイルシステムでフォーマットされていることを確認してください。 USB ハブまたは USB 延長ケーブルは使用しないでください。 本機は USB デバイスに電力を供給しません。 USB デバイスに電源が必要な場合は、電源に接続してください。 すべての USB デバイスが動作保証されているわけではありません。 一部の機器において認識されないことがあります。	その他の情報 > USB 機器/SD カード
USB デバイス上のファイルが表示されない。	ファイルが対応しているファイル形式であることを確認してください。 本機が対応していないファイルは表示されません。 USB デバイスが、本機で対応するフォルダ構造（最大 999 のフォルダ（ルートを含む最大 8 つのフォルダ階層）と最大 999 ファイル）であることを確認します。 USB デバイスがパーティション化されている場合は、ファイルが最初のパーティションにあることを確認してください。 本機は他のパーティションを表示しません。	その他の情報 > USB 機器/SD カード

症 状	対 処 法	参 照
USB デバイス上のファイルが再生できない。	<p>ファイルが対応しているファイル形式であることを確認してください。</p> <p>本機が対応していないファイルは表示されません。</p> <p>ファイルが著作権で保護されていないことを確認してください。</p> <p>著作権で保護された ファイルは再生できません。</p>	その他の情報 > USB 機器/SD カード
ファイル名が正しく表示されません。	<p>ファイルが対応している文字のみを使用していることを確認してください。</p> <p>対応していない文字は、「. (ドット)」に置き換えられます。</p>	その他の情報 > USB 機器/SD カード
Bluetooth 機器のオーディオ信号が本体経由で再生されない。	<p>Bluetooth 機器が正しくペアリングされて接続されているか確認してください。</p> <p>Bluetooth アンテナをリアパネルの端子に正しく接続しているか確認してください。</p> <p>Bluetooth 機器を本体に近づけて、Bluetooth 信号の受信状況を改善してみてください。</p> <p>また、Bluetooth 機器と本体の間の障害物（壁や家具など）を避けてください。</p>	<p>セットアップ</p> <p>または</p> <p>操作 > Bluetooth デバイスからオーディオ・ファイルを再生する</p>
Bluetooth 機器を接続しようとする時 PIN コードを要求される。	<p>PIN コード 0000 を入力してください（古い Bluetooth 機器は、PIN コードの入力を必要とする場合があります）。</p>	操作 > Bluetooth デバイスからオーディオ・ファイルを再生する

付録

仕様

Bluetooth の仕様

Bluetooth バージョン：	V4.0/V2.1 +EDR
対応プロファイル：	A2DP、AVRCP、HFP、HSP、SPP、OPP
到達レンジ：	最大約 50m
最大送信電力：	クラス 2、4 dBm
周波数：	2400～2500MHz

オーディオ

WAV (サンプリング周波数：44.1k、ビットレート：16bit)、
MP3 (サンプリング周波数：44.1k、ビットレート：64～320kbps)、MP2
M4A (DRM 保護なし)、WMA (DRM 保護なし)

対応フォーマット

周波数応答：	20Hz～20kHz (±1.0dB)
ダイナミックレンジ：	>85dB
S/N 比：	>90dB (A-Weighted)
ピッチ/テンポ可変幅：	±15%

端子

XLR 出力端子 (バランス L/R) x 1 セット
RCA 出力端子 (アンバランス L/R) x 1 セット
XLR + 1/4" コンボ入力端子 x 1
1/8" (3.5 mm) AUX 入力端子 x 1
USB ポート x 2
1/4 "ヘッドホン端子 x 1
IEC 電源端子 x 1

サイズ

約 430 x 200 x 43.6mm (ラック耳なし/**W x D x H**)

重量

約 2.3kg

商標及びライセンス

Denon Professional は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。SD および SDHC は、米国およびその他の国々において、SD-3C, LLC の商標または登録商標です。Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有しています。その他全ての製品名あるいは会社名は、それぞれの所有者によって登録された商標です。